

現場見学会の開催で、公共事業に対する住民意識が向上

目的	・一般の方々に、公共事業に対する興味をもってもらうとともに、理解を深めてもらい、積極的な市民参加を促す
地域	広島都市圏
成果	・参加募集人数に対して約10倍の応募者 ・道路事業に対して、非常に興味を持って頂いた
工夫	・実行委員会を設置し、企画段階から市民の意見を反映 ・市民から見学現場を公募 ・わかりやすいネーミング
取り組み時期	平成16年8月～今後も継続的に開催 第1回 平成16年8月24日 第3回 平成17年3月5日 第2回 平成16年10月2日 第4回 平成17年7月31日
取り組み主体	国土交通省 中国地方整備局 広島国道事務所



STEP1

取り組みの背景は？

- ◆平成15年に実施した現場見学会のアンケート結果から、一般の方の現場見学会への参加希望が潜在的に高く、また、現場見学会への参加により、これまでの公共事業に対するイメージ・意識が変化することに気づきました
- ◆そこで、現場見学会の累積参加者100万人を目標とし、「ひろしま・100万人の現場見学会」を定期的な開催をすることとしました。

【国信トンネル工事現場見学会の様子】



【見学会参加者へのアンケートの結果】

Q. 現場見学会に参加したことにより、
公共事業に対するイメージは変わりましたか

良い方に変
わった 70%

変わらない
30%

Q. 今回の現場見学会は
あなたの今後の生活に役に立つと思いますか

役立つと思う
78%

少しは役立つ
22%

STEP2

取り組んだ内容は？

- ◆一般の方々に公共事業への興味を持ってもらう、理解を深めてもらうため、広島国道事務所・市民団体・新聞社から構成された『ひろしま・100万人の現場見学会』実行委員会を発足し、企画段階から市民の意見を取り入れました。
- ◆また、市民の視点で現場見学会の企画を行うため、「見たい・知りたい」現場を公募し、見学地の選定を行いました。

【実行委員会の様子】



【ホームページによるPR】



【これまでに開催された現場見学会の様子】



▲ 第1回 「もぐってびっくり！道の地下」



▲ 第2回 「感動！トンネル貫通の瞬間」



▲ 第3回 「ドーン！と貫通トンネル工事」

STEP3

その結果は？

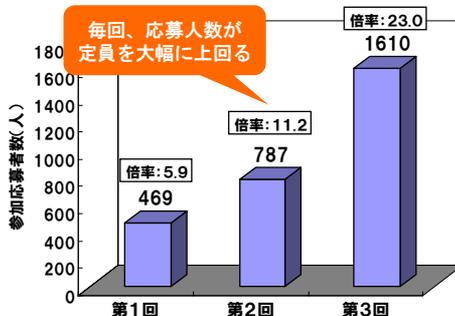
- ◆ ホームページや新聞等のPRにより、過去3回の参加応募者数は、定員を大幅に上回る結果となるなど、市民の公共事業に対する興味や理解は、徐々に得られていると考えられます。

【現場見学会参加者の声】

減多に見られないことを子供達に見せることができ、少し興味を持ち、解ることもあったのではないかと思います。

トンネルの発破もすごかったのですが、なによりこのトンネル工事の大変さや作業のする方の苦労を感じました

【現場見学会への参加応募人数】



STEP4

今後の取り組みは？

- ◆ これまでの現場見学会で得られた市民の公共事業に対する興味や理解などが風化されないよう、今後も定期的な開催を厳守するとともに、見学内容の質の更なる向上に努めます。
- ◆ そのため、見学地を道路事業以外への拡大を検討するなど、更なる工夫を実践しています。
- ◆ また、参加応募者へのフォローを実施するため、『100万人の現場見学会サポータークラブ』の開設を検討しています。

【道路事業以外で実施された第4回現場見学会】

